

ブロック塀総括診断書

JPEX

調査日 2019年 月 日
 記入日 209年 月 日

診断書番号 2019 - 5

診断士	氏名	綱島正利		登録番号	13-BS-0131
	所属	株式会社 三水工業		連絡先	03(3743)9425

ブロック塀の概要 [有・無]については、どちらかを消してください。

所在地						
所有者	住所					
	TEL					
居住者	氏名					
	TEL					
接する道路	1. 避難道路	幅員	m	歩道	有・無	m
	2. 通学路	"	m	"	有・無	m
	3. 避難道路・通学路	"	m	"	有・無	m
	4. その他	"	2.0 m	"	有・無	m

塀の履歴や構造 は、該当する項目に○を記入してください。[昭和・平成][有・無][要・不要]は、どちらかを消してください。

塀	材質	<input checked="" type="radio"/> ブロック	<input type="checkbox"/> 大谷石	<input type="checkbox"/> 万年塀	<input type="checkbox"/> コンクリート	<input type="checkbox"/> その他 ()	
	高さ	1500 mm	長さ	9600 mm	厚さ	100 mm	
	構成	塀 軽量ブロック多段積み		状況 : 道路面のみ塗装			
	建築	昭和・平成 年 月		建築後 40年経過			
	増設	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	年頃	増設規模		
	補強	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	種類	柱補強 [<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> その他 ()] 帯鉄板		
擁壁	有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	高さ	mm	有の時 診断 要・不要	
	材質	<input type="checkbox"/> RC	<input type="checkbox"/> 大谷石	<input type="checkbox"/> 間知石	<input type="checkbox"/> ブロック	<input type="checkbox"/> 石垣	<input type="checkbox"/> その他 ()

危険度判定指標(IS)の計算

評価項目	評価指標	危険度判定指標	ランク	危険度判定指標IS	評価	判定
経年指標	T= 0.50	IS = 11.30	A	16.00	正常	E
保有性能指標	E= 1.75		B	14.00 ≤ IS < 16.00	要注意	
外観指標	F= 5.66		C	12.00 ≤ IS < 14.00	危険	
形状指標	S= 3.39		D	11.00 ≤ IS < 12.00		
IS = T + E + F + S			E*	11.00		

診断士の総合判定

経年劣化が見られ、鉄筋量も少なく、壁体の欠損ひび割れが目立ちます。建築基準法既存不適格のブロック塀にあたり危険性ありと判断し診断士総合判定を**Eランク危険撤去**と致します。診断士所見は診断票巻末に記入

添付書類

ブロック塀診断表・診断写真 1点・その他 ()

備考欄

ブロック塀診断票



整理番号	2019-005
------	----------

診断士	氏名	綱島 正利	登録番号	13-BS-0131
	所属	株式会社 三水工業	電話番号	03 (3743)9425

経年指標 (T) ※該当する数字にアンダーライン処理(U)をしてください。(例:0.50)				
項目		T	項目指標	経年指標
建築後の年数	10年未満	1.00	T 0.50	T= 0.50
	10年以上 20年未満	0.80		
	20年以上	<u>0.50</u>		

保有性能指標 (E) ※該当する数字(*も)にアンダーライン処理(U)をしてください。				
項目		qei	項目指標	保有性能指標
a	縦筋間隔	500mm以下	1.00	qea *
		500mmを越え 900mm以下	0.90	
		900mmを越え 1200mm以下	0.50	
		1200mmを越える	*	
		なし	*	
b	横筋間隔	800mm以下	1.00	qeb 0.85
		800mmを越え 1200mm以下	<u>0.85</u>	
		1200mmを越える	0.75	
		なし	0.75	
c	基礎の有無	あり	根入れ深さ300mm以上	1.00
			根入れ深さ150mm以上 300mm未満	0.60
			根入れ深さ150mm未満	*
		なし	*	
d	地盤の性質	良質	1.00	qed 0.90
		普通(含む、判定困難)	<u>0.90</u>	
		軟弱	0.75	

【備考】

1. a「縦筋間隔」およびb「横筋間隔」の評価において、1本だけの配筋は「1200mmを越える」と判定する。

2. 地盤の性質が困難な場合は、「普通土」と判定する。

外観指標 (F) ※該当する数字(*も)にアンダーライン処理(U)をしてください。

項 目			qfi	項目指標	外観指標	
a	壁体のひび割れ	なし	1.00	qfa	0.76	
		あり	目地部			0.92
			ブロック面(含む、目地とブロックの境界面)			0.76
b	壁体の破損	なし	1.00	qfb	0.60	
		あり	少数(1、2箇所)			0.92
			数箇所(3～5箇所)			0.84
			多数(6箇所以上)			0.60
c	壁体の傾斜	なし	1.00	qfc	1.00	
		あり	1度以下(水平変位15mm/m以下)			1.00
			1度を越え3度以下(水平変位15～50mm/m)			0.92
			3度を越え5度以下(水平変位50～85mm/m)			0.76
			5度を越える(水平変位85mm/mを越える)			*
d	ぐらつき	なし	1.00	qfd	0.70	
		あり	小			0.70
			大			*
e	変色風化	なし	1.00	qfe	0.76	
		あり	0.76			
f	かさ木の欠落及び動き	欠落なし	動きなし	1.00	qff	0.92
			動きあり	0.92		
		欠落あり	動きなし	0.92		
			動きあり	0.60		
g	壁体に作用する土圧	なし	1.00	qfg	0.92	
		あり	土と接する部分の高さが400mm以下			0.92
			土と接する部分の高さが400mmを越え800mm以下			0.76
			土と接する部分の高さが800mmを越える			*

F= 5.66

【備考】

1. a「ひび割れ」の評価において、ひび割れがブロックと目地に生じている場合は、「ブロック面」と評価する。
2. モルタルかさ木およびかさ木なしの場合は、「欠落なし・動きなし」と判定する
3. かさ木に欠落と動きがある場合は、診断士の所見として「かさ木を撤去する」と記載する。

形状指標 (S) ※該当する数字(*も)にアンダーライン処理(U)をしてください。

項 目				qsi	項目指標	外観指標		
a	塀の 高さ	地盤 支持	控壁 (柱) なし	塀の高さ1.6m以下	1.00	qsa	0.70	
				塀の高さ1.6mを越え2.0m以下	0.70			
				塀の高さ2.0mを越え2.2m以下	0.50			
				塀の高さ2.2mを越える	*			
			控壁 (柱) あり	控壁(柱)最大間隔 3.4m以下	塀の高さ2.2m以下			1.00
					塀の高さ2.2mを越える			*
				控壁(柱)最大間隔 3.4mを越え 6.0m以下	塀の高さ1.6m以下			1.00
					塀の高さ1.6mを越え2.0m以下			0.80
		塀の高さ2.0mを越え2.2m以下	0.70					
		控壁(柱)最大間隔 6.0mを越える	塀の高さ2.2mを越える	*				
			塀の高さ1.6m以下	1.00				
			塀の高さ1.6mを越え2.0m以下	0.70				
			塀の高さ2.0mを越え2.2m以下	0.50				
		擁 壁 上	塀の高さ1.2m以下		0.80			
塀の高さ1.2mを越える			*					
b	塀の 厚さ	塀の高さ2.0m以下		塀の厚さ 120mm以上	1.00	qsb	0.85	
				塀の厚さ 120mm未満	0.85			
		塀の高さ2.0mを越え 2.2m以下		塀の厚さ 150mm以上	1.00			
				塀の厚さ 150mm未満	0.75			
c	透 かし ブ ロ ッ ク の 使 用	なし		1.00	qsc	0.84		
		あり	最下段 以外	単独使用			0.92	
				2個連続使用			0.84	
				3個以上連続使用			*	
		あり	最下段	単独使用			0.76	
				2個以上連続使用			*	
d	上 に 積 み 増 し	なし		1.00	qsd	1.00		
		あり		*				

S = 3.39

【備考】

1. 連続フェンスの高さは、フェンス部の高さを1/2として塀の高さを計算して、評価する。
2. 控壁が1つのみの場合は、「控壁間隔 6mを越える」と評価する。

危険度判定指標（ I_s ）の計算

評価項目	評価指標	危険度判定指標	判定	診断士所見
経年指標	T= 0.50	I_s = 11.30	E	下記に記載 診断士総合判定 E
保有性能指標	E= 1.75			
外観指標	F= 5.66			
形状指標	S= 3.39	$I_s=T+E+F+S$		

ブロック塀の判定基準

ランク	危険度判定指標 I_s	評価	対策
A	16.00	正常	不要
B	$14.00 \leq I_s < 16.00$	要注意	簡易補強
C	$12.00 \leq I_s < 14.00$	危険	補強
D	$11.00 \leq I_s < 12.00$		要撤去
E(*)	11.00		撤去

[注] 項目指標に*印がある場合は、Eランクとする。]

ブロック診断危険度判定は、各項目に関して(項目指標に*の評価が有り)

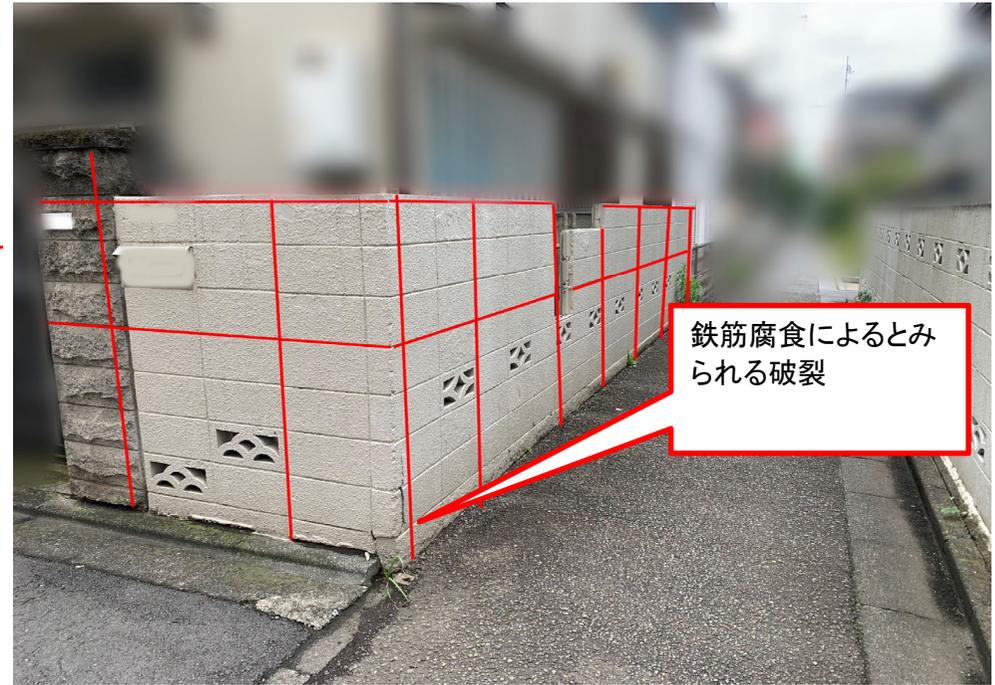
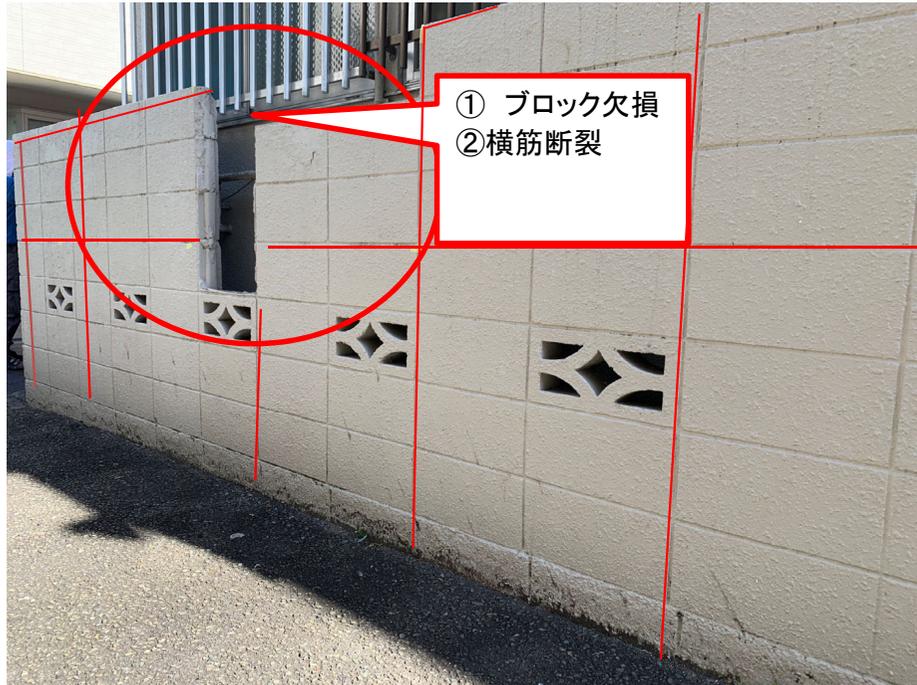
問題が有り、診断士総合判定をEランクで危険、撤去の必要があると判定しました。

鉄筋間隔が縦筋1200mm横筋1.000mm以上あり、基礎は埋め込み塀家側に土被り200mm程度あり壁体の損傷個所が多数見受けられ、門柱笠木も失われています、築造後40年以上経過しブロック塀の耐用年数を超えております。実質1.6mのブロック塀にも関わらず控え壁の設置は無く、門袖を控え壁と見做しても、設置間隔も建築基準法の3.4m以下毎に設置しなければならないところ、門柱袖壁を控え壁見做しても、最大間隔は6.0m以上縦筋間隔も1.200mm以上となっており建築基準法既存不適格にあたります。

以上の点を総合的に判断し、ブロック塀診断士総合判定をEランクの危険、撤去の必要ありと判断致しました。接する道路も狭く地震等の災害で倒壊また転倒した場合道路のほとんどを塞いでしまうと思われますので早急な改修をお勧め致します。

改修の際は、低ブロック塀や軽量のアルミフェンス等を使用した安全で安心できる塀にして頂けます様にお願いいたします。

様邸ブロック塀診断調査写真



築造後40年以上経過し経年劣化が進んだ厚み100mmの軽量ブロック多段積み塀です。

壁体に6本の欠損あり、壁体のひび割れ箇所も多く、鉄筋の膨張によるブロックの破裂箇所も有ります。

控え壁は実質8段積1.6mのブロック塀に対し門袖

部分しかなく8mの全長に対して一か所設けられていません。

また、門柱の笠木も画像反対側は既に脱落している状態です。

家側とは、20cm程度の土留めとなっています。

縦筋間隔最大1.200mm、横筋間隔最大 1.000mm

地盤面より1.000mm5段分迄は横筋が配筋されていません。

コンクリート基礎もなく建築基準法既存不適格なブロック塀となります。

表面的には塗装されていて健全な塀のイメージを受けますが

鉄筋量も少なく、有効な控え壁もない問題の多い

危険なブロック塀です。早急な撤去をお勧めします。